



トムトム通信



第 20号 2008年10月発行

発行元: 特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム

皆様、おひさしぶりです…

目次	
皆さま、おひさしぶりです…	1
職員紹介	2
職員紹介	3
本間の雑感	4

トムトム茅ヶ崎・平塚の各事業所で繰り広げられた、にぎやかな夏休み活動から、早いもので1ヶ月が過ぎました。

秋深まる予感がする今日この頃ですね。

トムトムを利用していただいている子ども達は過ごしやすいこの季節、公園までの散歩や紙芝居、音楽、おやつ・昼食作りなど、思いおもいの秋を満喫しているようです。放課後の

取り組みならでの安息の表情と、ひたいに汗する熱心さを垣間見ることの出来る私たち職員は、この仕事に就ける幸せを味わっています。

法人内の動きとしては、夏休み前の7月1日に、茅ヶ崎の「ゴロゴロクラブ」、平塚の「ゆうゆうクラブ」が同時に移転開所を行うことが出来ました。地域の皆様、ご利用の皆様に変えられ、大きな期待をいただき、子ども達の輝ける放課後の場所になっています。

・・・とは申しませんが、昨今のめまぐるしい福祉の世界。障害者自立支援法に馴染めず、まだまだ戸惑いが隠せない今日ですが、子ども達、青年方のご成長は、着実に歩んでおられます。そんな中、「うちの子の働く場所はあるのだろうか?」「卒業したら何処に行けばいいのだろうか?」「地域の中で暮らすってどういうこと?」というお声を耳にします。・・・このようなお声はホンの一例なんじゃないかな。

そのような背景を受け、ご利用の皆様はじめ、地域の協力者の方々と座談会をご案内の通り、企画いたしました。皆様のお一人おひとりの「生きている声」が、共有する他の皆様や私たち職員の勇気や支え、将来への礎になってくるのだと信じています。お忙しい中と存じますが、お気軽にご参加いただき、明日からの暮らしやすい社会に前進するよう、一緒にできたら幸せです。

トムトムは発足から10年を迎えようとしています。地域に根付いた子ども達への支援が中心の小さなNPO法人が、子ども達の成長と共に次の事業展開を考える時期に来ているように思われます。ご利用の皆様、地域の皆様への感謝の気持ちを持ち続け、遠くを見据え、足元の確実なる一歩! これからもご理解と、ご協力をお願いいたします。



(事業部長: 露口信行)

しよくいんしょうかい
職員紹介

いわさき ひでとし
岩崎 秀徳です



初めまして。

10月よりゴロゴロクラブに配属された岩崎と言います。ここに就職する以前は、一般企業に4年、老人福祉にケアワーカーとして約4年間勤めていました。

僕には仕事をやる上で人の役に立ちたいという思いがあり、以前から福祉関係の仕事には興味がありました。お子さんと接することも好きです。ですが、諸事情で一般企業の製造業に勤めてしまい、利益追潤の意向が強く

あったので、人の役に立つ思いなんてどこに吹く風やらという感じでした。(っっていうか当たり前ですよわ…。)

退職後は晴れてホームヘルパー1級を取得し、介護職員となり、人の役に立てると期待していたのですが、僕のいた老人ホームの現場では職員の人手不足等により、自分にも時間的にも余裕が持てない中で、流し作業のように利用者さんの介助にあたっているのが実際であって、およそ人を扱っているような感じではありませんでした。それでも、少ない機会の中で、お年寄りの方と触れ合っている時間は楽しくはありました。ですが、ここでも人の役に立っていると実感するには不十分なままで終わってしまいました。(補足ですが、全部の介護施設がそうではないので、参考程度にしたらえれば幸いです。施設名は聞かないで下さい…。)

こちらに入職してからは幾日かが経ち、障害福祉の経験がない僕にとっては毎日が新鮮で驚きの連続ではありますが、こんなにゆったりとした雰囲気を利用者さんに関われるとは思っていませんでした。これからは、1日でも早く障害の特性、障害福祉の在り方を理解し、利用者さんの役に立てるような支援ができるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。僕は見た目イカつかいかもしれませんが、そんなに悪い人ではないと思しますので、みなさま優しく接してください。よろしくお願い致します。

好きな食べ物？	お酒♪
趣味は？	スノーボード
座右の銘は？	七転び八起き

いとう なつみ
伊藤 菜つ美です



初めまして。

こんにちは。伊藤菜つ美です。

少し経歴を紹介したいと思います。福祉の3年制の専門学校を卒業し、高齢者施設(グループホーム)で1年間準職員として働きながら、週1回程度、平塚タイムケア・ゆうゆうクラブでアルバイトというかたちでトムトムと関わってきました。

今年度、4月より常勤として働かせていただいています。

幼稚園頃の友達で、周りの子とちょっと違うなあと感じる子がいました。小学校に上がり、その子は障がい児学級(今は特別支援学級?)に行きました。中学校でも同じ学校で、特別支援学級の中で、勉強だけでなく作品作りや陶芸など、とても熱心に取り組んでいる姿を見て、楽しそうだなあと感じました。その子は高校に上がる際、養護学校に進み、一緒に遊ぶことも少なくなりましたが、今でも時々メールをしたり、年賀状のやりとりは続いています。そして専門学生時

好きな食べ物？	お寿司・ハズケ・甘い物♪(ただしチョコは×)
趣味は？	わちみーるなどのグッズ集め
座右の銘は？	食う・寝る・遊ぶ



代、ボランティアとして障がい児と接して、子どもたちの素直で可愛いところや、感情をストレートに表現してくれるところにも心惹かれ、だんだんこの仕事に興味を持つようになりました。まだまだ何も分からないひよっ子です。現場に事務に、勉強中です。

タイムケアでの集団での子どもの様子、移動支援での、ヘルパーと子どもの一対一の様子の違いを知り、それぞれの良さを学んでいる真っ最中です。また、親御さんとの関わりも重要だと実感しました。周りの職員さんに少しずつ業務を教えていただきながら、ヘルパーさんとも仲良くさせていたがながら、自分のペースで頑張っていきたいと思っております。周りからは几帳面と言われているので(実際そうでもない気もしますが…)、几帳面さを生かして楽しくお仕事できたら良いなと思っています。

さくおき あつし
菊沖 厚です

好きな食べ物？	とんかつ♪
趣味は？	釣り・温泉旅行
座右の銘は？	急がば回れ



今年4月から常勤職員になりました菊沖厚です。7月に開所した赤羽根ゴロゴロクラブに所属しています。辻堂生まれ辻堂育ちの53才、2人の息子を持つ父親で、郷ひろみ、千代の富士、江川卓などと同世代です。趣味は魚釣りや温泉旅行。課題はダイエットです。既に一部の利用者さんにはヘルパーとしてお世話になってきましたが、改めてよろしくお願ひします。

私と障害福祉との関わりは、約30年前に遡ります。当時学生だった私は今で言うところの知的障害児入所更生施設のような所でアルバイトをしていて、子供たちと寝食を共にする生活を送っていました。その後は一般企業に就職しましたが、子供たちと過ごした日々がいつも頭の片隅にあり、将来は地元で障害福祉の仕事に携わっていきたいと考えていました。縁あってトムトムと出会い念願が叶った次第です。私は「一生懸命」という言葉が大好きです。「利用者の方々が、出来るだけ自分のことは自分で出来るように」を目標に、トムトムの事業を通してお手伝いさせていただきたいと思っております。

さて私の子供時代を振り返ると、そこには身近に自然が沢山ありました。自宅の隣りは田んぼでスルメを餌にザリガニ釣りをしたり、近くの畑では春になると露地栽培でイチゴを作っていて、形はいびつでも大粒で甘くおいしいイチゴを食べることが出来ました。小高い住宅地には松の大木が何本もあって、台風の後には松ぼっくりを沢山拾うことが出来それを集めて風呂の薪代わりにしました。夏には大庭山にカブトムシをとりに行ったり、自転車で茅ヶ崎や寒川に行って野原でトンボとりをしたり川でフナを釣ったりして遊びました。残念ながら今になってはそれが何処だったか覚えていませんが楽しい思い出です。

趣味の魚釣りは高校生の頃に始めて、茅ヶ崎海岸や平塚海岸からシロギスやイシモチをねらっての投げ釣りによく出掛けました。腰越や油壺あたりから出港して、相模湾のイナダやアジを釣りに行くこともありました。最近は釣りに行くことも少なくなりましたが、海を親でいると気持ちが洗われるように脱気を蒸うことが出来ます。

現在の我が故郷は、都市化の進展で道路も隅々まで舗装され、雨が降っても水溜りは殆んど見られなくなり、上下水道の整備や公園・河川の整備などで快適に生活できるようになりました。しかしながら、一方では自然や農地が減少し自動車の増加で人が歩きにくくなり、騒音も増えるなど高齢者や障害をもつ人にとっては必ずしも良い環境とは言えません。今後は一層地域全体で障害者や子供・高齢者の人々への理解を深め、そして守ることにより、皆が安心して生活できる福祉社会が創造されることを心より願っています。



本間の雑感・・・

こんにちは、事業部長の本間です。ここ数年を振り返ると、トムトム
のサービスや活動が、公的な制度でかなりの部分が、出来るよう
になりました。結果として、多くの方が経済的な負担を減らす形で利用
してもらえるようになりました。利用して下さる方も大幅に増えまし
た。（できない部分も多くありましたが・・・）

そのことは、ここ数年着実に障がい福祉が前進してきた部分と言えら
ると思います。（まだまだ、質量ともに十分だとは思いませんが）ただし、
現状は決して樂觀出来る状況ではありません。サービスや支援をする
仕組みは公的なものも含めて増えて来ましたが、仕組みもまだまだ不
十分ですし、なにより、直接たずさわる「人」の部分に無理がかかっ
ている。というのが現状です。無理を続ければ、その無理も利かなくな
って壊れてしまう。いつ壊れてしまってもおかしくない。障がい福祉の
現場は、そんな状況に思えます。

また、当事者にとっては大きな問題でも、現実には障がい者と関わり
の少ない人、薄い人にとっては、障がい者の問題は対岸の火事、他人
事、どうでもよいことになってしまっているのではないのでしょうか？
では、障がい児・者にはお先が真っ暗なのか？何も変わらないのか？
たぶん、それは当たり前かもしれませんが、私も含めて障がい福祉に
近い人たち自身にかかっていると思います。困っている、必要として
いることを堂々と多くの人に伝えていくこと、理解者を増やして
いくこと、課題を共有し、立場や役割が違う人たちが協働して
いくこと。そういった取り組みを具体的に進めていくことが、今
後はますます大切なのではと感じています。

（事業部長：本間太郎）

皆さま、お久しぶりです。お元気でしたか？しばらくの間、トム
トム通信の発行をお休みさせていただいていました。相変わらず
トムトムでは日々、すったもんだと常勤はかけずり回って
いますが、この度無事に20号を発行する運びとなりました。
今年度は、新入職員が3名増えて常勤が8名になりました。
今後も、事業発展に向けて一致団結の元、地域に根付いた
障がい福祉サービスの充実に向けてがんばっていきたく
思います。どうぞよろしくお願いします。

（総務部長：加藤里恵）

賛助会員を募集中です /

【個人・団体共に】年間1口：3,000円（何口でも結構です）

【郵便口座番号】00290-3-47042

【口座名義】特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム



ホームページもご覧ください。
<http://www.npo-tomtomo.com/>

特定非営利活動法人
パーソナルサービスセンタートムトム

神奈川県茅ヶ崎市萩園1602

電話 0467-84-0806

FAX 0467-84-1034

Email: houjin@npo-tomtomo.com